

平成26年度 第1回石巻市震災復興推進会議 会議録

1 日 時 平成26年7月20日（日）14:00～16:00

2 場 所 石巻市役所 庁議室

3 出席者 【委員】17名（別紙参照）

【市】市長、各部長、各総合支所長

関係課長等（地域協働課、基盤整備課、区画整理第1課、区画整理第2課、
集団移転対策第1課、復興住宅課、危機対策課）事務局（復興政策課）

【オブザーバー】（別紙参照）

4 議事の概要

(1) 提案等に対する取り組み状況等について（資料1に基づき復興政策課長補佐が説明）

【委員】

資料を見ても、回答を聞いても満足いくものではない。もっと分かりやすく具体的な説明をしてほしい。（柔軟な姿勢での魅力的なまちづくりが必要）

【丸岡会長】

委員の質問に対する回答は、次回に持ち越しとさせていただきたい。

また、市側に対するリクエストではなく、各委員からの具体的な提案をいただきたい。

【委員】

復興の状況を市民へ説明する手法が下手である。未確定な状況であっても市民に対する状況説明は必要だと思う。

【丸岡会長】

公開できない情報もあることは理解しているが、夢は語ってほしい。

(2) 復興事業スケジュールについて【資料2】（説明：復興政策課長）

【委員】

道路事業（特に県事業）の遅れは、復興全体に影響するため、早くする努力が必要である。特に、新内海橋は「まちの核」であり、工期の遅れの影響は大きい。

【市長】

市としてもかなり危惧しており、新内海橋の事業の遅れは、まちづくりの遅れとなるので、何としても早い段階で整備してほしい旨を関係機関に要望していく。

【丸岡会長】

道路もJRも体で言えば血管みたいなもの。なお一層の努力をお願いしたい。

(3) 復興事業の課題について【資料3】

① 地域コミュニティの再生について（説明：復興政策部長）

【委員】

コミュニティづくりの重要性について、(コミュニティづくり支援補助金等)の申請手続きの簡素化や新たな住民に対するコミュニティの説明会等が必要である。

【委員】

復興公営住宅に係るコミュニティについての考え方をまとめる必要がある。

(現在住んでいる方と新たに来る方々とのコミュニティが重要)

【復興政策部長】

市では公営住宅の入居開始前に3回の説明会を実施し、顔合わせや入居のルール等の説明を町内会長や民生委員も含めた形で実施している。

【委員】

当町内会にある復興住宅6階のベランダに屋根がなく困っているため、対応してほしい。(5階までは屋根あり)

② 復興公営住宅の整備について（説明：復興事業部長）

【委員】

課題②の「建設労務、資材価格の高騰」については、市としてはどうにもできないと思う。復興庁で予算対応するしかないのではないかと。

【宮城復興局石巻支所 松本次長】

第10回の復興交付金の作業中であり、個々に対応していきたい。

【委員】

未登録世帯への意向調査を行っているとのことであり、市民の気持ちの変化もあると思うので、きめ細かい対応をお願いしたい。

【復興事業部長】

参考までに復興公営住宅に入居決定した方からも月20件程度の入居辞退がある。

【小野田副会長】

復興公営住宅については、後になると空室が発生する場合があります、市が維持管理(財政負担)を行うことから、適正な数の見極めと自力再建への誘導が大切である。

③ 地域包括ケアシステムの構築について（説明：健康部長）

【委員】

地域包括ケアシステム基本構想に沿った取り組みになっていないように見えるが、包括ケアに対する医師との温度差があるのではないかと。

【健康部長】

石巻市医師会には、基本構想の策定に全面的に協力をいただいている。

【委員】

医師会としては、知識、情報を蓄積している段階であり、具体的な形は見えてきていないが、積極的に関わっていきたい。

また、9月には医師会として地域包括ケアの研修会を開催することとしている。

【委員】

地域の協力・理解がないと地域包括ケアは成り立たない。良い制度なので成功させたい。地域と一緒にやっていく取組みを考えてはどうか。

【市長】

他職種連携、地域コミュニティを保ちながら、みんなで支えあう仕組みが重要であり、地域(行政区、町内会)と共に検討していきたい。

【委員】

地域との関わりを検討するときに、商店関係者、コンビニ関係者も含めて考えてほしい。小さいがビジネスチャンスに繋がり、地域に役立つ仕組みがあるかもしれない。

④ 市立病院再建について（説明：病院局事務部次長）

【委員】

建設場所が駅前であり、交通に係る対策をどう考えているのか。

【建設部長】

国道398号線の白線変更を協議しており、また、市役所と病院の間についての車線拡充や小川町踏切の交互通行等を予定している。

【委員】

将来的には仙石線の高架化を含め検討していくべきではないか。

【浅野副会長】

駅から1分の病院であることから、蛇田や渡波に車を置いて電車・汽車で石巻駅にくるパークアンドライド等をJRと一緒に検討していく必要がある。

資料3 復興事業の課題

- ⑤地盤沈下・浸水対策（次回会議に持ち越し）
- ⑥複合文化施設の整備（次回会議に持ち越し）
- ⑦半島中心部の拠点整備（次回会議に持ち越し）

5 その他

【小野田副会長】

支えあいセンターと市民ホスピタルの協働、ビッグデータの活用、庁内おける担当課と自治連合推進会との連携したワーキング設置、戦略的広報の徹底、ストック管理の5点の重要性について、総括的な説明があった。

6 閉会

別紙

【出席委員17名】

氏名	所属	備考
浅野 亨	石巻商工会議所 会頭	副会長
伊藤 和男	特定非営利活動法人石巻市体育協会 会長	
大槻 幹夫	河北地区住民代表	
尾形 和昭	株式会社街づくりまんぼう 代表取締役副社長	
小野田 泰明	東北大学大学院工学研究科 教授	副会長
兼子 佳恵	環境と子どもを考える会 代表	
久門 俊勝	一般社団法人石巻市医師会 副会長	
後藤 宗徳	社団法人石巻観光協会 会長	
西條 允敏	石巻市文化協会 会長	
佐々木 文彦	北上地区住民代表	
馬場 利一郎	石巻市身体障害者福祉協会 会長	
松川 孝行	いしのまき農業協同組合 代表理事組合長	
丸岡 章	石巻専修大学理工学部特任教授、東北大学名誉教授	会長
山上 勝義	石巻市仮設住宅自治連合推進会	
山崎 信哉	石巻市仮設住宅自治連合推進会 会長	
吉田 忠美	石巻市町内会連合会 会長	
吉田 祐二	石巻市社会福祉協議会 事務局次長兼総務課長 兼ささえあいセンター事業副総括	

【欠席委員6名】

氏名	所属	備考
渥美 克之	牡鹿地区住民代表	
阿部 洋子	石巻市民生委員・児童委員協議会 会長	
阿部 力太郎	宮城県漁業協同組合 代表理事理事長	
高橋 和子	河南地区住民代表	
藤井 勝	貞山三・四・五丁目自主防災会 会長	
吉田 薫	雄勝地区住民代表	

オブザーバー

松本 宏之 復興庁宮城復興局 石巻支所次長
齋藤 牧人 宮城県東部地方振興事務所 地方振興部 総括担当次長